

**平成26年度進行管理・評価シート**  
**三好市歴史的風致維持向上計画（平成22年11月22日認定）**  
**（最終変更平成26年3月31日）**

■進捗評価シート(様式1)

	頁数
①組織体制(様式1-1)	
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 阿佐家住宅保存修理事業	3
2 川人家長屋門保存修理事業	4
3 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業	5
4 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業	6
5 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業(屋根塗り)	7
6 農地の保全整備と遊休地の活用事業	8
7 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業(石垣修理)	9
8 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業(工作物改修)	10
9 文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	
0	11
襖からくり公演会	12
親子でふれあう重でんけん	13
茅刈り体験塾、石積み体験塾	14
「平家落人伝説」探訪ウォーキング	15
蔓橋架け替え資材の確保と育成活動	16
池田のうだつのまち歩き「車座勉強会」・「ガイド養成講座」	17
歴史文化遺産の総合調査、伝統芸能継承事業	18
地元産材の確保を図る調査活動「ふるさと分k財の森システム推進事業」	19
井川町辻地区伝統的町並み保存対策調査	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用について、文化財の修理(整備)について	21
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	22
文化財周辺の環境保全について、文化財の普及・啓発について	
3 文化財の防災について、埋蔵文化財の取扱いについて	23
市町村の教育委員会の体制について	
保存・活用に関わる各種団体について	
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 古民家の宿新たに3棟 三好・落合集落 ほか	24
2 三好の住民団体 古民家再生 観光拠点に ほか	25
3 うだつの町並み見どころ伝えて 三好でガイド講座 ほか	26
4 襖からくり 変幻自在 三好・後山農村舞台で公演 ほか	27
5 三好市東祖谷「かかしの里」表情豊か 地域に癒し ほか	28
6 オオヤマレンゲ食害最小限に 防護ネットや監視が成果 ほか	29
7 武者行列や劇披露 「平家まつり」にぎわう	30
8 かずら橋 装い新た 三好・西祖谷 渡り初め ほか	31
⑥その他(様式1-6)	
1 文化財の魅力向上につながる取り組み	32
■法定協議会等におけるコメント(様式4)	33

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
計画調整担当部署と事業担当部署の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されている。他事業においても連絡・調整等の連携強化が波及した。円滑な事業推進を図るため、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会(平成27年3月16日)及び三好市文化財保護審議会(平成26年4月23日)をそれぞれ開催し、計画進捗評価について意見を伺った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

計画期間に基づき掲載事業に順次着手しているが、事業ごとに様々な課題が生じており、より密な関係部局との連携が必要である。重点区域内における新たな事業展開が検討されており、歴まち計画との調整が課題となっている。計画期間及び重点区域の見直し、歴史的風致形成建造物の追加指定、歴まち計画関連事業の再要望等について関係部局との協議を進め、近く対応方針をまとめる。

状況を示す写真や資料等

三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催

- ・開催日 H27. 3. 16
- ・開催場所 市中央公民館会議室
- ・主な議事
  - 平成26年度分の計画及び事業の進捗状況に関する評価について
  - 祖谷のかずら橋周辺修景整備計画の策定状況について
  - その他

三好市文化財保護審議会の開催

- ・開催日 H26. 4. 23
- ・開催場所 市中央公民館会議室
- ・主な議事
  - 平成25年度事業報告についてについて
  - 平成26年度事業計画について
  - その他
- ・開催日 H26. 10. 1
- ・開催場所 サンリバー大歩危会議室
- ・主な議事
  - 平成26年度事業の進捗状況について
  - その他



文化財保護審議会の開催状況(H26.10.1)

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、平成23年3月「景観計画」の策定、同年6月に「景観条例」の制定、平成24年4月1日に景観条例を施行した。その後、24年度に景観重要建造物(樹木)の調査(申請1件(却下))、景観パンフレット作成、建築関係業者説明会開催、電気事業者との景観形成協議の実施、公共工事ガイドライン作成、景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催を行う。25年度は景観計画区域内で工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定した。26年度においては、三好市総合計画基本計画方針に示された秘境ブランド推進のため、東祖谷中上地区で修景事業を実施したほか、景観審議会の委員の任期が新たになり、19名の景観審議委員を選任した。

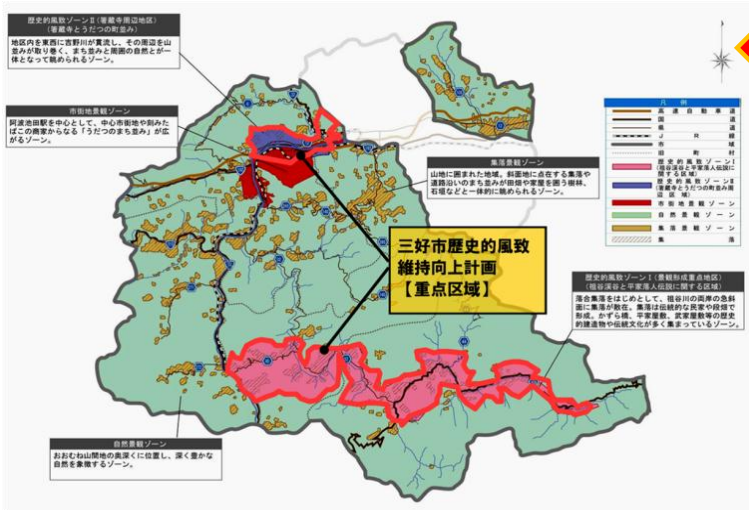
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等



特に三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「祖谷渓谷と平家落人伝説に関する区域」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「箸蔵寺とうだつの町並み周辺区域」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。



■三好市景観計画書

■三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)

■東祖谷中上地区での修景事業



N邸 施工前



N邸 施工後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
阿佐家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)

計画に記載している内容 阿佐家住宅(平家屋敷)の建物を購入し、解体、復原修理を実施する。敷地は徳島県指定区域を借り受け、周囲の建物、屋敷林、庭園等を市の文化財公開施設として、一体管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

24年度において、主屋の売買契約締結、仮設・解体工事の実施設計作成、25年度では、主屋の仮設工事、工事中仮設住宅の建設、26年度においては、主屋の解体工事(25年度繰越事業)、復原工事実施設計作成を行った。また、阿佐家住宅が徳島県指定有形文化財であることから、関係機関(県文化財保護審議会、県教委等)と協議を行い、現状変更届を提した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

祖谷平家伝説ゆかりの地であり、代々受け継いできた歴史的建造物(文化財)であることから買取り協議や設計協議に時間を要したため、事業全体の進捗が遅れ、事業期間を25年度末から29年度末まで延伸した。今後は、期間内に事業が完了するように関係者や関係機関との事前協議を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

【図面及び現況写真】



阿佐家住宅主屋(修理前)全景



主屋 解体工事(着手前)



主屋 解体状況(屋根構造材解体)



主屋 解体状況(主要構造材解体)



主屋 主要構造材解体状況



主屋 解体工事(完了)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
山下家別邸保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)		
計画に記載している内容	辻地区で空き家となっている伝統的な町並みを改修整備し、来訪者と地域住民との交流施設や伝統的な町並みを紹介する情報館として活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
26年度においては、当初、所有者等の協議を進め、建物の改修整備計画を作成する予定であったが、関係機関との協議を行った結果、現行の「街なみ環境整備計画」(※)を計画期間内に変更し、当該事業を盛り込むことが困難だったため、27年度末に予定されている同整備計画の見直し時期に併せて当該事業を28年度以降の新規事業として盛り込むこととした。 ※27年度末の事業期間で、当初計画では重点区域の池田地区に井川地区が含まれていない。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		計画当初は25年度末の歴まち変更認定に伴い、26年度で「街なみ環境整備計画」を変更し、当該事業を盛り込む予定であったが、関係機関との協議により、27年度末の計画見直しの時期に併せて当該事業を盛り込む行うこととなった。このため、全体的な事業期間の見直しが必要となった。	

【図面及び現況写真】



■整備予定の山下家別邸  
伝統的な町並みの中心部にある明治期築の町屋で、辻の町並みの歴史を知る上で貴重な歴史的建造物となっている。



■辻町の町屋を象徴する大型のうだつや空葺から逃れるために黒塗りされたと伝わる漆喰壁等が残る。



■町並みの周辺コース内には、辻の町並みに関する情報を発信できる拠点施設が整備されていない。

評価軸③-3

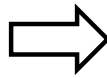
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
三好市東祖谷山村合伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成30年度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	保存地区の住宅15棟の保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度			
●下西家(主屋)、柿平家(主屋・隠居屋)、旧中窪家(主屋)の屋根、外壁の保存修理が完了 ※屋根はトタン葺きの葺き替え(改修)、外壁はひしやぎ竹、木製建具等に改修			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画的な保存修理事業を進めているが、費用負担や管理面の問題からトタン屋根から茅葺屋根に復原することへの理解が所有者からは得られにくい。引き続き所有者や管理者に対し、伝統的建造物群保存地区の保存方針に対する理解や協力を求めていく取り組みが必要であるため、事業期間を30年度まで延伸した。		
状況を示す写真や資料等			

特定物件の「下西家」



主屋(施工前)

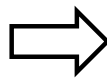


主屋(完了)

特定物件の「旧中窪家」



主屋(施工前)



主屋(完了)

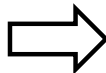
評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(地域住宅計画に基づく事業)		
計画に記載している内容	保存地区の空き家8棟を改修し、滞在型交流施設として活用が図られた。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内で空き家となっている特定物件(建造物)を「修理」、非特定建造物を「修景」の対象として、平成26年度では特定物件2棟の修理・修景工事を施工した。 (平西家)主屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など) (宮浦家)主屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など) ※保存修理が完了した建造物から滞在型交流施設として活用を図っている。 利用実績: H24年中(H24. 4月～H24. 12月の9か月で2棟利用) / 806人 H25年中(H25. 1月～H25. 12月の12か月で2棟利用) / 987人 H26年度(H26. 4月～H27. 3月の12か月で6棟利用) / 1,454人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	25年度から文化庁と国土交通省の2つの事業の使い分けで事業を実施しているが、両事業の調整が難しく、関係部局、設計業者との十分な調整、協議が必要である。当初は22～25年度で8棟の改修を計画していたが、所有者協議、設計協議等に不測の時間を要したため、26年度まで事業期間を延長した。		
状況を示す写真や資料等			

特定物件の空き家「平西家」



主屋(施工前)

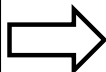


主屋(完了)

特定物件の空き家「宮浦家」



主屋(施工前)



主屋(完了)

**評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	---

事業期間	平成22年度～平成30年度
------	---------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	保存地区の建造物の屋根の塗り替え及び張り替えを実施する。
-------------	------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

26年度も引き続き、保存地区内にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張り替えに対する助成を行い、景観改善が図られた。  
 平成26年度： 3棟(2件)の塗り替えを実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観に配慮した屋根の塗り替えが順次進み、一定の効果がみられ始めているが、地区内には塗り替えを終わっていない建造物が残っているため、30年度まで事業期間を延伸し、引き続き景観改善を図っていく方針である。
--	--

状況を示す写真や資料等

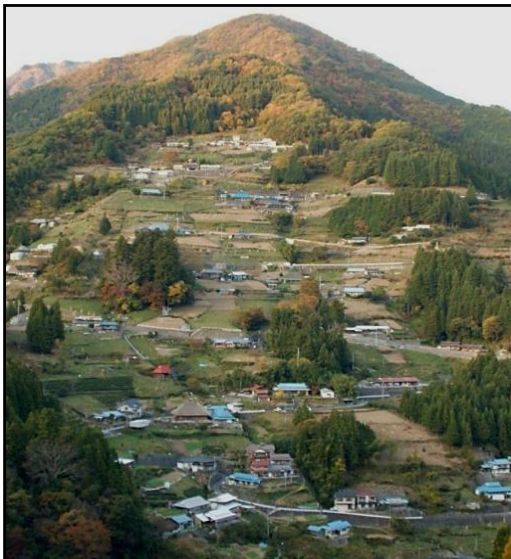
■伝統的建造物群保存地区の景観改善を図る特定物件の屋根の塗り替え  
 ※保存活用ガイドラインに沿った色彩(こげ茶)に統一



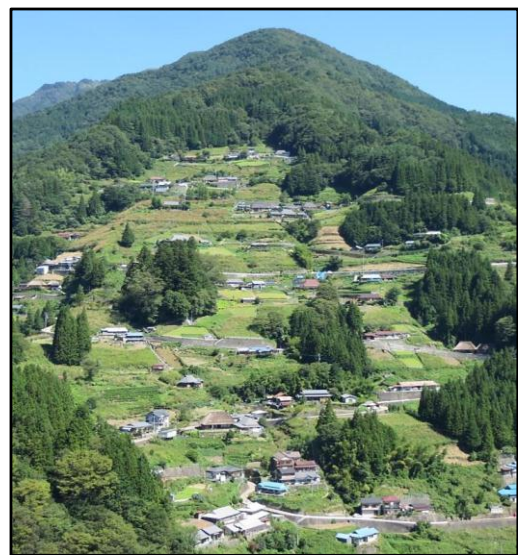
屋根塗り替え前



屋根塗り替え後(完了)



修景を行う前の保存地区全景



修景事業が進む保存地区全景(H26.9月現在)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
農地の保全整備と遊休地の活用事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成26年度		
支援事業名	耕作放棄地再生利用交付金		
計画に記載している内容	歴史的風致維持向上施設周辺の農地の保全と遊休地の活用が図られた。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
26年度においては、耕作放棄地再生利用緊急対策事業(耕作放棄地再生利用交付金を活用し、耕作放棄地解消や地域農業活性化のための農地再生として土壌改良、作付け等を行う)、耕作放棄地解消に向けた啓発活動(「全国一斉耕起の日」の記念行事の開催等)実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	山間地における高齢化の進行と後継者不足による遊休地(耕作放棄地)の解消が課題となっている。現在の対策事業で一定の効果がみられるが、事業効果を市内全域に広げるため、26年度まで事業期間を延伸した。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
耕作放棄地解消のための植えられたソバ刈り探り開催状況 (開催日及び開催場所)			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成30年度		
支援事業名	市単独事業 ※重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の活用を検討		
計画に記載している内容	保存地区の特定物件となっている石垣の保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
26年度においては、下西家の屋敷背面で崩壊した石垣について、伝統工法により保存修理を実施した。			
計画延長 17メートルをすべて修理			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理の実施にあたっては、保存地区内で継承されている伝統工法により、実施する。また、既存の石垣を崩壊させないための取り組み(日常の点検やメンテナンスなど)も検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



保存修理前



保存修理後(完了)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	---

事業期間	平成23年度～平成30年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
-------	---------------------------------

計画に記載している内容	保存地区の道路構造物等景観を阻害している工作物の改修を実施する。
-------------	----------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

23年度において、重伝建落合地区及び菅生地区の2か所で地道風のイメージでカラー舗装を行う道路美化を行い、景観改善が図れた。落合地区においては、地区内でカラー舗装が望まれる箇所が一部にあるが、26年度においては未整備である。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路美化によって周辺の景観改善は図られるが、通常の舗装に比べコストが高いため、予算の確保や周辺住民の理解を得ることが困難な状況にある。今後は、地区内全体が道路美化されることによって期待される効果(全体景観の向上化等)が期待される点をわかりやすく関係住民に伝えることが必要である。
--	---

状況を示す写真や資料等

【 事業イメージ 】



■道路美化(地道風舗装)前



■道路美化(地道風舗装)後



■保存地区内の状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

項目	現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成22年度から平成30年度
支援事業名	実行委員会単独事業
計画に記載している内容	平家落人伝説を題材とした武者行列、西祖谷の神代踊(重要無形民俗文化財)等、民俗文化財の公開

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祖谷平家まつり/地元実行委員会が主催となり、祖谷平家落人伝説を題材にした創作劇や武者行列のほか、祖谷地方で継承される伝統芸能が披露され、地域資源を活用した啓発活動や伝統文化の継承が図られた。

開催日: H26. 10. 26 かずら橋夢舞台(西祖谷山村)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



祖谷平家まつりで披露された祖谷落人伝説を題材にした創作劇



恒例の武者行列に参加する地元児童



伝統芸能「祖谷衆太鼓」の披露

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

項目 現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 保存会単独事業

計画に記載している内容 市の有形民俗文化財「襖絵」と多彩な郷土芸能の公開

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

襖からくり公演会／西祖谷山村で市指定有形民俗文化財に指定されている「後山からくり襖絵」(後山地区)と「徳善からくり襖絵」(徳善地区)を保存・継承する地元保存会が襖からくりの公演会を開催し、伝統文化の継承や文化財保護への啓発が図られた。

開催日：平成26年10月11日 後山農村舞台 10月19日 徳善阿弥陀堂

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

The Historic Village Theater in Miyoshi City  
唯一の組立式農村舞台  
第8回 祖谷文化伝承まつり  
みなさんさそってお楽しみあれ  
とき 26年10月19日(日) 12:00開演  
ところ 徳善阿弥陀堂横広場 (三好市西祖谷山村)  
無入料場 10:00開場

※プログラム※  
●襖からくり実演  
●伝統芸能と民謡  
●加羅守多姫伝説物語  
●舞踊  
●こま回し芸  
●もちまぎ

【主催】徳善襖絵からくり舞台実行委員会  
【後援】後山からくり襖絵保存会／(一社)三好市観光協会

The Historic Village Theater in Miyoshi City  
夜間公演 第5回 祖谷襖からくり  
2014年10月20:00~22:00  
11日(土) 後山農村舞台  
11日のみ特別出演  
25日(土) 徳善阿弥陀堂横広場

無料送迎バスのご案内  
11日 18:30 三好市所本町 19:00 三好市所本町  
19:00 道の駅大歩危 19:30 道の駅大歩危  
25日 18:30 三好市所本町 19:00 三好市所本町  
19:00 道の駅大歩危 19:30 道の駅大歩危

【お問合せ】(一社)三好市観光協会事務局  
tel: 0883-76-0877 fax: 0883-76-0876  
総局 三好市徳田町カラダ1816-18(AM:9:00~PM:6:00)

地元保存会により公演された徳善地区と後山地区の「襖からくり」

徳善からくり襖絵が9枚1組からなり、それぞれ伝統的な操作技術によって、襖絵が左右、縦、横、斜めに巧みに回転し、図柄が次々と見事に変化していく様が見事である。

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

項目	現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 団体単独事業

計画に記載している内容 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区での体験学習

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

親子でふれあう重でんけん／平成26年度において三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区区内で、NPO法人主催の米作り体験事業(田植え、稲刈り、脱穀の体験)が実施され、文化的・歴史的な景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。

- 田植え体験／田植え祭り 平成26年6月15日実施
- 稲刈り体験／稲刈り祭り 平成26年10月19日実施
- 脱穀体験／脱穀祭 平成26年11月13日実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統的建造物群保存地区内にある水田で行われた田植え体験



稲刈り体験



稲刈り体験



足ふみ式脱穀機での脱穀体験

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成30年度		
支援事業名	協議会単独事業		
計画に記載している内容	三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区での体験学習		

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

茅刈り体験塾、石積み体験塾／平成26年度においては、地元保存会が茅刈り作業を実施したが、体験型の茅刈り作業は実施できていない。しかしながら、地元保存会と地元NPO法人が連携協力し、三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区を訪れた観光客や宿泊客を現地案内する「落合集落ガイドツアー」やこの地域に伝わる食文化を体験していただく「そば打ち体験」が実施され、地域資源を活かした啓発活動や文化財保護への取り組みが進められた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石積み体験についてはここ数年実施されていないが、石積みを崩壊させないメンテナンス的な取り組みにつながるものであるため、30年度まで事業期間を延伸し、今後も取り組みを進めていく方針である。

状況を示す写真や資料等



**江戸時代のわが家が並ぶ**  
 ここは急斜面のユートピア。

落合集落ガイド  
 南 敏治  
落合集落ガイド 南 敏治

わが家の生まれは江戸時代  
 ガイドはまだ2年ほどですが、ここに住んでは70年になります(笑)。  
 我が家は落合集落で一番古い1780年(安永9年)に建てられ、230年を越えて今なお現役です。前も後も、この辺りの家はだいたい江戸時代に建てられていますよ。  
 最近、車道も整備されましたが、それまでは道らしい道もなく、下り道から重い荷物を担ぎ上げていました。だから、背が伸びたんです(笑)。  
 なんせ急斜面ですから、なんもんか重い石を運んで石垣を築いてからです。主に算本積みという方法ですが石垣だけでも興味深いんですよ。この石垣の役々類は、水だけじゃなくて、土も上へ上へと上げないん、それで、皆さんが落しがかるかやで作ったコケツで、これを土に切り込んで埋めます。カヤを混ぜると、栄養もあって腐りが出て、渡れにくい土になるんですよ。  
 そんな畑仕事や石垣の昔談、家を建てるのも、昔はすべて村総出でした。そばの安を誇るときも、それ段取りがよく見事でしたよ。そうして、10時から「一番茶(じや)」午後2時から「二番茶」というて、いろいろの周りで手をくしに刺したテコ回しなどをみんなで食べよりました。これが楽しみでな。今は、村の人数が減ってしまおうて、皆さんをお迎えするための草刈りもほとんど一人で。  
 そんな村の暮らしや行事の話もお聞かせたいと思いますが、興味がある方がおたら、一緒に体験してもらってええ思い出になりますよ。

そらへと続く旅  
 それになんといっても、ここには下界では見られない素晴らしい風景があります。秋の紅葉はもちろん、初秋のそば畑、朝山から顔を覗かせる日の出、どれも絶景ですが、その一番は雲海。家の下には三所神社がありますが、その杉木立を境に線を引くように雲海がなびきます。といつも見られるわけではありませんし、長い時間とどま

でもくれません。まさに一瞬一瞬に山の風景は表情を変えます。そういう意味で、山の風景は一期一会、その瞬間が二度と出会えない絶景です。そこで、最近ではデジタルカメラで撮影したお写真で、違う季節の絶景も見ていただくようにしております。  
 子どもたちにもくガイドをします。まず落合集落が真直に見え向かいの山の展望台に立ってもらいます。そこで、記念撮影をとると後ろに落合集落が写るわけです。自分らがどういこうと選んじたい、一番よく分かります。  
 子どもたちが、大賞品するのが落合集落の展望。天の川に手が届きそうですよ。そこは、周囲も緑で囲まれているので、誰も深く展望を見るには最高の場所。いつまでも帰ると言わんでは。また、その選するに、シカやタヌキといった山の動物にも出会います。それは、思い出深い一夜になりますよ。

●お問い合わせ・お申し込み  
**落合集落ガイド**  
 落合集落ガイド  
 電話0983-88-5290  
 〒776-0206 徳島県三好市東祖谷郡約209  
 営業時間/9時～18時(年中無休)  
 ガイド営業時間/1時間

そば打ち体験  
 そば打ちの音も素晴らしいので、そばを打つための音も聴きました。そば打ちの音は、地盤を見下ろす場所から打つそばの音も聴いていただきました。  
 落合集落でもそばを打つ体験も楽しんでいます。

重要伝統的建造物群保存地区「落合集落」  
 平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された落合集落。東祖谷のそば中央、祖谷川と落合集落の合流点から約1kmにわたって広がる落合集落。集落内の高低差は約300m。第1号の急傾斜には、江戸中期から昭和初期に建てられた民家や、一つひとつ積み上げた石垣と地蔵などのつかし山村の風景が広がります。

落合集落  
 落合集落ガイドブックより

落合集落ガイドを紹介したパンフレット (大歩危・祖谷達人ガイドブックより)

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 団体単独事業

計画に記載している内容 歴史文化めぐり、体験学習

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「平家落人伝説」探訪ウォーキング／地元有志で組織される体験塾のメンバーが平家落人伝説の語りべとなり、落人伝説の伝承地(平家屋敷:阿佐家住宅、平家の赤旗など)を巡る「かたりべと探訪ウォーキング」が実施した。地域資源を活かした山村集落景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

**「祖谷の平家伝説」は  
ひと味違うわいな  
一度と言わず来てたもれ。**

奥祖谷めいめい塾 平家伝説ガイド  
つづみ 麗子  
都築 麗子

**戦を捨てて寄りそうて**

子どもの時から祖谷の伝説を聞くのが好きで好きで、それで12年前に商工会女性部の「めんめ塾」という会で、郷土の歴史に詳しい森本先生から祖谷の伝説やガイドを学んだのが始まりかな。それから4～5年後に先生から後を託されて実際にガイドを務めたもの。最初はガイドの依頼も少なく、なかなかうまくいって苦労したわいな。

その平家ガイドじゃけど、たいていは奥祖谷にある「龍宮祖コテージ」か「東祖谷歴史民俗資料館」が出発場所、全行程は2時間半から3時間くらいじゃあか。ここには食事施設はないけど、ご希望がある場合は、お弁当など用意して、そこで食べてもらうて出発となるかな。

平家ゆかりの地をめぐりながら、伝説の話をしていくわけじゃけど、歴史が好きなのは、それは熱心に耳を傾けてくれる、ときには安徳天皇さんのことは首をかしげながら聞いとる人もおるけど、



一つ一つ場所をたどってご案内し、最後を迎えられたという場所まで来ると、「やはりここは貴い方が来られたのかも知れない」と言ってくれるけどな。もちろん、ここは平家伝説だけではないのて、追討する源氏の跡も残されておるんよ。平家の一族も平国盛から三代目までは「平」を名乗り、それ以後は戦いをやめて「阿佐」を名乗って、祖谷の人として寄りそうて生きること決心したというんよ。それから、何代目からは源氏方からお嫁をもらったり、嫁に行ったり。そのドラマをぜひ奥祖谷で見たい、感じてほしいと思うとるんよ。

**祖谷弁の不思議?**

ガイドは祖谷弁でほしいという人も多いんじゃけど、平家伝説は高貴な方も登場するんで、なかなか祖谷弁だけではお話しできないよ。

ほんで、祖谷弁で祖谷の暮らしをお話すると、みなさん喜んでくださるんよ。年配の方なら、みなさん思い出の中にある懐かしい暮らしかな。それでも、祖谷にしかないような話もあるんよ。例えば、「屋根の上に屑を出す」ちよう音響があるんやけど、これはもちろん屋根の上で物を売るわけじゃないんよ。

またガイドだけやのうて、祖谷そばの手打ち体験もできるんよ。そば粉を石臼で挽くんじゃけど、石臼と言えば「東祖谷の粉ひき節」という民謡があるんやけど、民謡はうちのじいちゃんばあちゃんが好きで山の嵐で猿が寝ると大宴会。そこで、じいちゃんばあちゃん歌うとったんよ。じいちゃんにはかなわんけど、わたしも民謡は大好き。歌うとみなさん喜んでくださるんやけど、なには涙を流さるほろほろしてくれたり人もおったんよ。

一年を通じて、祖谷ならではの絶景があるんやけど、ここは春が来ると梅と桜も一緒に咲くんよ。一度は下が桜、中は新緑、上は紅葉というところがあって、祖谷に住んどもんも驚くほどの景色を見たこともあったわあ。ここまで来ると見れんもんはようけあるんよ。

●お問い合わせ・お申し込み  
**平家伝説ガイド**  
つづみ 麗子  
電話0883-88-5625  
〒778-0204 徳島県三好市東祖谷若林84-1

**かずら工芸体験**  
祖谷はなんといっても「かずら織」が有名。そのかずらを使ったかごなどをつくって体験もできるんよ。暑い人は2時間で、2つかごを仕上げます。

**平家御膳**  
子どもの時は目が覚めると、母と祖母が石臼を挽いていた風景を見たことも...昔はおなごしの夜なべ仕事に夢を馳せとったんよ。そんな祖谷の暮らしそのまに、石臼そばを挽いてつくる祖谷そばに、郷土料理を添えた「平家御膳」。また、ご希望の方にはお弁当も用意できるんよ。それに、古式そば体験塾もあるんよ。

平家伝説ガイドを紹介したパンフレット  
(大歩危・祖谷達人ガイドブックより)



評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

現在の状況

項目

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 市委託事業

計画に記載している内容 シラクチカズラの植栽と保護活動

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

蔓橋架け替え資材の確保と育成活動／地元実行委員会の「祖谷のかずら橋架け替え用資材確保実行委員会」が主体となり、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の架け替え用資材となるシラクチカズラの保護や育成のための活動を実施し、文化財保護活動と地域資源を活用した啓発事業が図られた。

・実行委員会の開催 平成26年6月26日 ・苗木作り体験 平成26年7月17日 ※地元中学生が参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

祖谷の蔓橋の資材確保に向けた調査研究や育成活動が進められ、一定の効果がみられているが、今後も引き続き事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等



苗木作り体験  
(地元中学生が徳島森林管理署や実行委員会のメンバーから指導を受けながらシラクチカズラの苗木作りを体験し)



苗木の管理状況



架け替えられたばかりの祖谷の蔓橋  
(国指定重要有形民俗文化財 H27.2.23)

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成30年度		
支援事業名	社団法人主催事業、市委託事業		
計画に記載している内容	池田町と井川町のうだつのある伝統的な町並みの地域資源の発掘とガイド育成		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

26年度は、にし阿波観光圏事業「にし阿波体感プログラムイベント にし阿波と恋する時間～あわこい～」による「まち歩きイベント」が池田町と井川町のうだつのある伝統的な町並みで開催され、地域資源と発掘とガイド育成が図られた。  
 開催日: H27.2.7、H27.3.7 開催場所: 池田のまち並み 開催内容: 新酒飲み比べ うだつまち歩きグルメツアー  
 開催日: H27.2.7、H27.2.21 開催場所: 辻のまち並み 開催内容: 井川まち歩き 辻の歴史を巡るツアー

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	状況を示す写真や資料等

The image displays a collection of promotional materials for winter activities in the Nishiiwa region. The materials include various event flyers and brochures. Two specific events are highlighted with red arrows and pink boxes:

- Event 57: New Wine Tasting & Udaguchi Walking Gourmet Tour** (新酒を飲み比べようだつまち歩きグルメツアー). Scheduled for 2/7 and 3/7 from 10:00 to 13:00. The flyer features photos of people walking in a snowy landscape and a map of the area.
- Event 56: Udaguchi Walking History Tour** (井川まち歩き 辻の歴史を巡るツアー). Scheduled for 2/7 and 2/21 from 10:00 to 13:30. The flyer shows a group of people walking through a traditional town street.

Other visible events include 'Snowy Scenery Viewing in Awa no Kuni no Yama Trekking' (No. 59), 'Winter Photo Studio Tour with Pro Cameramen' (No. 55), and 'Udaguchi Walking History Tour' (No. 58).

にし阿波体感プログラムイベントに盛り込まれた池田と辻のまち歩きツアー(パンフレットより)

**評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度から平成30年度		
支援事業名	市委託事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業の活用を検討、実行委員会主催事業		
計画に記載している内容	歴史文化遺産の総合調査、伝統芸能の継承を図るための用具整備・公開事業の支援・映像記録保存		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

26年度は、市内の3つの伝統芸能保存団体を対象に、映像記録保存を実施したほか、祖谷平家まつりや襖からくり公演等のイベントにおいて、伝統芸能の公開が行われ、伝統芸能の継承が図られた。

- |                 |                       |                      |
|-----------------|-----------------------|----------------------|
| ①撮影内容： 大月のチョウサ  | 保存団体： 大月太鼓保存会         | 事業期間： H26.9月～H27.3月  |
| ②撮影内容： 後山からくり襖絵 | 保存団体： 後山からくり襖絵保存会     | 事業期間： H26.10月～H27.3月 |
| ③撮影内容： 徳善からくり襖絵 | 保存団体： 徳善襖絵からくり舞台実行委員会 | 事業期間： H26.9月～H27.3月  |

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



映像記録保存を実施した徳善からくり襖絵  
(市指定有形民俗文化財)



映像記録保存を実施した大月のチョウサ  
(市指定無形民俗文化財)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度から平成30年度		
支援事業名	市委託事業 ※ふるさと文化財の森システム推進事業の活用を検討		
計画に記載している内容	地元産茅材の確保を図るための調査活動		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>26年度は、茅葺き古民家の屋根用資材となる地元産茅材の安定供給を図るため、ふるさと文化財の森の設定に向けて候補地の選考や現地調査に取り組んだ。</p> <p>①調査箇所：三好市東祖谷榎尾地区の京柱峠(14,000㎡)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
		<p>ふるさと文化財システム推進事業による茅材採取候補地として調査を進めた東祖谷榎尾地区の京柱峠にある茅場</p>	
「ふるさと文化財の森」設定箇所位置図			
			

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

項目 現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度から平成27年度

支援事業名 市単独事業 ※社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業の効果促進事業)の活用を検討

計画に記載している内容 井川町辻地区の伝統的な町並みの保存活動を検討するための意向調査等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

26年度は、町並み調査報告会を平成27年3月15日に実施し、平成23年度から26年度にかけて調査した内容に基づき、辻町の町並みの特徴や魅力を参加者に報告し、参加者を対象にアンケートによる意向調査を実施した。  
このほか、平成26年3月に県事業で実施された井川町辻地区の町並みを巡る「阿波のくらしを巡るみんなの遠足」において、参加者アンケートが実施され、辻町に関する感想や意見が多数寄せられたため、調査報告書に反映をさせた。

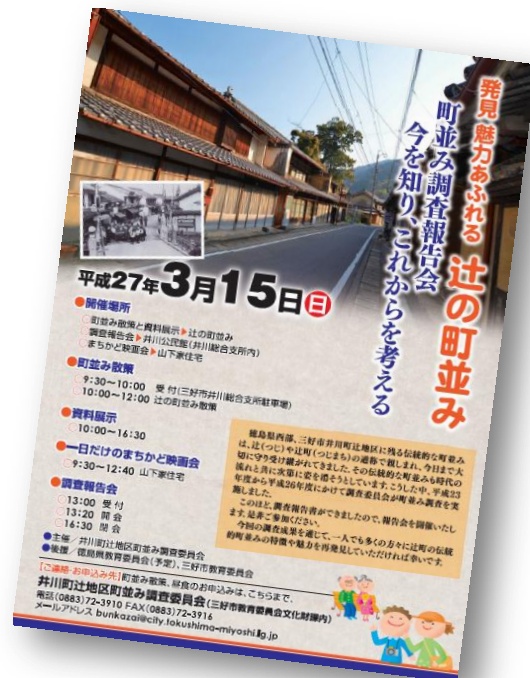
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

町並み調査事業が完了したため、27年度以降は、町並み保存活用策を具体的に検討していくための勉強会や町並み参加型交流イベントに取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財の保存・活用について</li> <li>●文化財の修理(整備)について</li> </ul>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
- ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
- ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
- ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の保存・活用について  
 26年度においては、未指定建造物(大日靈神社本殿・拝殿)が国の登録有形文化財に登録された。また、市内の景勝地「大歩危」の国指定名勝を目指した現況調査と文献調査を実施したほか、伝統的な町並み(井川町辻地区)調査を継続実施し、未指定史跡の四国八十八カ所札所「雲辺寺」遍路道の国指定史跡を目指した事前調査や国登録有形文化財「旧三野町役場庁舎」の公開活用に向けた保存活用計画の策定等を実施した。

●文化財の修理(整備)について 26年度  
 阿佐家住宅保存修理(P3 参照)、伝統的建造物群保存地区保存修理(P5～P6参照)、伝統的建造物群保存地区修景事業(P7参照)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

市内で大切に保存・継承されている民俗芸能(伝統行事)が過疎・高齢化等による後継者不足により、保存継承が次第に難しくなっているが、用具・衣装の修理に関しても会員減少などで保存会の自主的な活動が困難となっている。このため、市(県・国)による支援が一層必要である。

状況を示す写真や資料等



国の登録有形文化財に登録された大日靈神社の本殿



保存活用計画を策定した国登録有形文化財の旧三野町役場庁舎



国指定名勝を目指した現況(古道)調査を実施(大歩危)



国指定史跡を目指した事前調査を実施(雲辺寺遍路道)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財の保存・活用を行うための施設について</li> <li>●文化財周辺の環境保全について</li> <li>●文化財の普及・啓発について</li> </ul>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。
- ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。
- ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。
- ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用を行うための施設について/説明板・標柱の作成(1件)
- 文化財周辺の環境保全について/市景観条例の施行(P2参照)
- 文化財の普及啓発について/文化財冊子用写真撮影、市ホームページを活用した情報発信
- 伝統的建造物の公開と交流施設としての活用/旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)の公開、重伝建落合地区での交流施設(宿泊施設)の活用

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

広い市域に点在する文化財は約120件あり、これらを巡る場合、特に山間部を通るアクセスルートが複雑である。それぞれの文化財をつなぐための周遊ルート設定や案内板の整備が急がれている。文化財説明板の設置に際しては、景観やメンテナンス等、目的に合わせた規格・仕様を検討し、関係部局とのサインポリシーの調整が必要である。

状況を示す写真や資料等



重要伝統的建造物群保存地区の東祖谷山村落合地区の空き家を改修し、滞在型交流施設として活用を図った。



市ホームページを活用した情報発信  
(県指定有形文化財川人家長屋門の保存修理事業を紹介)



文化財説明板・標柱の設置  
(西祖谷山村・県指定有形文化財:徳善家住宅)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財の防災について</li> <li>●埋蔵文化財の取扱いについて</li> <li>●市町村の教育委員会の体制について</li> <li>●保存・活用に関わる各種団体について</li> </ul>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。  
 ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。  
 ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。  
 ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の防災について／市CATV等による普及啓発
- 埋蔵文化財の取扱いについて／試掘調査(なし)
- 保存・活用に関わる各種団体について／文化遺産を活かした地域活性化事業、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続(19団体)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・市指定文化財等の防災設備が未整備の状況となっている。このため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要である。  
 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方策を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



重要文化財木村家住宅での防災設備の保守点検  
 (実施日:H26. 10. 16)



伝統芸能の公開状況「祖谷の粉引節」  
 (H26. 10. 19 徳善からくり舞台)



祖谷平家まつりで公開(奉納)された伝統芸能の  
 「重末八幡神社の獅子舞」  
 (市指定無形民俗文化財)







評価軸⑤-3  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
当時の製造工程を展示 旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)	H26.7.4	徳島新聞
うだつの町並み見どころ伝えて 三好でガイド講座	H26.7.9	徳島新聞
かずら橋の架け替え材料 西祖谷中生、苗木作り	H26.7.18	徳島新聞
観光周遊ルート創設 訪日客呼び込み 三好の2カ所も候補	H26.8.25	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等



黒木さん(左端)から町並みの見どころを学ぶ参加者—三好市池田町マチの本町通り

参加者は風情のある町並みを歩きながら、たばこの町として栄えた池田町の歴史、屋敷のつくりの異なるなどの特徴を聞き、黒木さんは「観光客が何を知りたいかによって、見せる場や伝える内容を調整して」と話した。次回からは、秋に開かれる(坂田節)舞台イベントを行う関係者、地域おこし協力隊員ら約20人が参加。住居グループ「きらび本町」の黒木公子代表(73)が講師を務めた。

1く3年生12人が、約20分の長さに切ったシラクチカスラのつるの先端に根が出やすくする薬を塗り、プランターに約600本を植えた。3年後はプランターを撤去し、東祖谷の山中に移植する。



プランターにシラクチカスラの挿し木をする西祖谷中の生徒—三好市の祖谷ふれあい公園

「3年この架け替えに使われるシラクチカスラは、市の食書に記されている。祖谷ふれあい公園で育てられ、大切に育ててほしい」と願いを込めていた。

して使えるまでには20〜30年を要する。3年生の谷口日菜子さん(14)は「みんなに大切に育てる橋の材料になってほしい」と願いを込めていた。

栗斤 月刊 2014年(平成26年)7月4日 金曜日 地 域 (12)

四国の軌跡～近代化遺産を訪ねて

当時の製造工程を展示

旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館) (三好市)

「たばこの製造工程を展示する。当時の製造工程を展示する。当時の製造工程を展示する。」

観光周遊ルート創設

訪日客 三好の2カ所も候補

「観光周遊ルート創設」が、訪日客の呼び込みを促進する。三好市の観光資源を有効活用し、観光客の呼び込みを促進する。三好市の観光資源を有効活用し、観光客の呼び込みを促進する。

評価軸⑤-4  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
あそびバ！ 祖谷のかずら橋	H26.7.21	徳島新聞
酒蔵に蒸し米の香り 三好で新酒造り	H26.10.4	徳島新聞
襖からくり 変幻自在 三好・後山農村舞台で公演	H26.10.13	徳島新聞

評価対象年度 平成26年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。</p>

状況を示す写真や資料等

(13) 情報とくしま 第3種郵便物認可

H26.7.21(月)

あそびバ！



四季を通して自然と調和した美しい景観を生み出す「祖谷のかずら橋」

祖谷のかずら橋 (西祖谷山村)

平家一族の豪族を秘める日本三大秘境の一つ「祖谷」。三好市西祖谷山村の深谷に架かる吊り橋が「祖谷のかずら橋」(国指定重要有形民俗文化財)です。シラクチカスラ(重さ約5.5トン)で作られたもので、長さ45m、幅2m、水面上14mの高さがあります。

昔は祖谷渓谷地帯の唯一の交通施設でしたが、風雨でカスラが傷むと、観光客の増加とともに橋を渡る人も多くなり、3年毎(今回は27年1月13日~2月末)に架け替えが行われています。

新緑の季節から、紅葉に染まる山々、しんしんと降り積もる雪の中で、西岸の老木に重みを託し、そよ風にゆらゆらとゆれるかずら橋。祖谷川の清流にその影を映す悠然とした姿は、四季を通して自然と調和した美しい景観を生み出しています。

冬場の厳寒な山野で採取した自生のシラクチカスラを編み連ねて造られるかずら橋は、当時の人々には大切な生活路として祖谷川各所に架けられ、古文書によるとかつて7ないし13の橋が存在したとされます。

今では西祖谷山村の「祖谷のかずら橋」と東祖谷の「奥祖谷二重かずら橋」を残すのみとなりました。

民謡「祖谷の粉ひき節」にも歌われるかずら橋の由来は、祖谷に伝行された伝説が由来です。

せりよう、カスラで造ったという説など諸説が残っています。

また、祖谷のかずら橋近くには「琵琶の滝」があり、飛び散るしぶきが涼を誘っています。高さ50mから落下する優美な滝で、平家の落人が京の都を偲び、琵琶を奏でてつれづれを慰めあっていたと考えられています。

祖谷のかずら橋や琵琶の滝周辺には駐車場や飲食店も多く、名物の祖谷そばやでこまわし(ジャガイモ、豆腐、コンニャクの田楽)アメゴの塩焼きなどが売られています。これからの暑い季節には、祖谷川の河原で清流に足をつけながら、アメゴやでこまわしを食べるのもおいしさが倍増しそう。

今も村人に大切に守られてきたかずら橋周辺の景観は、訪れた人々に遠い昔の祖先の暮らしを感じさせてくれます。

かずら橋の通行料金は大人500円、子ども400円。季節によって渡れる時間帯が変わるので、事前に問い合わせを。三好市観光案内所☎0120(404)344。



H26.10.4

酒蔵に蒸し米の香り 三好で新酒造り



新酒の仕込みで、蒸した米をほくほくして冷ます職人

三好市井川町の芳水酒蔵

酒造りの三好市で、職人たちは新酒造りが始まった。仕込み作業に追われて、芳酒が盛りだくさん。

同市井川町の芳水酒蔵では、職人たちが新酒の仕込みで、蒸した米をほくほくして冷ます。50℃を、湿度や温度が一定に保たれた釜に運び込み、冷ましてから布に包み込んで、1日間寝かせて麹菌を働かせ、水や酵素を混ぜて8日間、酒母を作る。さらに、酒母の水や蒸し米、麹を混ぜる本仕込みを経て新酒が完成し、11月上旬に店頭に出る。晴さん(右)は、天候不順で米がやや小さめだが、酒造りに大きな影響はないと話す。

市内には、芳水のほかに「三芳齋」や「今小町」などの銘柄があり、目玉に順次、新酒造りを始める予定で、作業は来春まで続く。(佐藤博喜)

H26.10.13

襖からくり 変幻自在



三好・後山農村舞台で公演

三好市西祖谷山村後山農村舞台で、観客が大きな歓声と拍手が上がった。日曜、襖からくり公演。同市出身の形遣いがあり、観客ら約70人、勘齋も舞台に立人が伝統芸能の世界を、和太鼓の響きに楽しんだ。

後山から、奥山、厚壁、三味線の山、存会員が虎やシヤ、間に包まれた山中のク、宇船などが描かれ、農村舞台、力強い演技、10枚1組の襖を、三技と演奏を繰り広げ、味線の音色に合わせて。

襖からくりは西祖谷を、斜めに傾けた襖を、一回転させる。山村徳善の徳善阿波院「マレンカ」や、堂でも、19日正午から襖の回転を繰り返せと、25日午後8時から扱った「マレンカ」と題される。問い合わせは、問い合わせ先を載せた市観光案内所、今更して、絵柄を交換し、1ダイヤル0120-404344。

次々と場面が変わり、詰め掛けた(坂田信也)

評価軸⑤-5  
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 平成26年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
幸せここに 三好市東祖谷「かかしの里」 表情豊か 地域に癒し	H26.8.22	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

2014年(平成26年)8月22日 金曜日

## 「かかしの里」

### 幸せここに

三好市東祖谷

東祖谷の最奥部にある名頃には24世帯47人が暮らす。地区内にあるかかしは住民より多い約150体。等身大で性別や年齢に合わせた服を着せ、表情や体格、腰の曲がり方まで一体一尊重う。この一風変わった光景は、新聞やテレビでも紹介され、立ち寄る観光客が後を絶たない。

標高約900m、山深い三好市東祖谷地区の名頃地区に、なごやかな人影が多いか、初めて訪れた人は戸惑ったかもしれない。畑の脇で年寄りや世間話に花を咲かせる。常連客でにぎわう串焼きの屋台前ではハス待つ列ができています。人見まがうこれ

ひときわ数多くのかかしに囲まれた家に、綾野月美さん(65)が住む。過疎が進む限界集落が観光を浴びるきっかけは、綾野さんが作った「かかしの里」だ。

綾野さんは12年前、父親の上栗光廣さん(83)と暮らすために家族を大阪市内に残し、名頃に帰ってきた。時間を持って余し畑仕事を始めたが、カラスに種を食べられてしまう。被害を防ごうと作ったのが、父親をモデルにしたかかしだ。

「似ている」と近所で評判になった。「光廣さん、おはよう」と元気でかかしにあいさつする人もいた。「反応が面白い。いろいろなかかしを作ってみた。隣のおはあちゃん、通学する子ども、亡くなった母親...。やがて、地元民らも

一緒に作るようになり、か求めて若者が山を下り、2人に出会わせてくれた。かかしが増えていった。01年には小学校も閉校。「かかしを見に来る人」が多くなり、こころはほっとかになった。綾野さんも名頃で幼少時。豊かな表情、自然なたたずまい。月に1度、徳島市内の近所に住む小椋忍さん(72)の代を過した一人。古里に内々教室を開き、自宅でも持つ不思議な力をあためて感じた瞬間だった。

海外からも注目を集める。ドイツ人の映像作家がドキュメンタリーを制作。作品はインターネットの動画投稿サイトに40万回以上再生されるなど反響を呼んでいる。

「自分が好きでやっているだけ。でも、それが皆さんに喜んでもらえ、にぎわいが戻るのには本心でうれしいこと」

綾野さんはかかしを1人、2人と数える。どこかに届ける時も車に乗せてシートベルトをかけるほど大切に。かかしは自分の身内や子でもみないもの。だから、粗末に扱われると少し気が悪い。

最近作ったかかしが、お気に入りの子たち。

「かわいいでしょ」。人が減ってもかかしがいれば寂しくない。綾野さんはこれからかかしと共に古里を見守り続ける。

（坂田佑那）  
※随時掲載



たくさんのかかしに囲まれて談笑する綾野さん(中央左側)＝三好市東祖谷 名頃地区



評価軸⑤-6 効果・影響等に関する報道

Table with 3 columns: 報道等タイトル, 年月日, 掲載紙等. Contains 3 news items about plant protection and community activities.

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 口計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

Newspaper clipping: 剣山山系に群生希少植物 オオヤマレンゲ 食害最小限に 防護ネットや監視が成果. Includes photos of the plant and people working in the field.

Newspaper clipping: 古民家再生 交流空間に 三好・落合集落 きょう開所. Includes a photo of people sitting on a bench in a restored building.

Newspaper clipping: 三好・マチトソラ芸術祭 開催期間を大幅延長. Includes details about the art festival and photos of the venue.







項目

文化財の魅力向上につながる取り組み

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

◎伝統的町並み周辺での地域おこしイベントの実施／歴史的風致維持向上計画の重点区域である三好市池田町の本町筋周辺には、刻みたばこ産業で栄えた名残を留めた伝統的な町並みが残っているが、数年前より、歴史的で文化的な空間を活用したイベント「うだつマルシェ」が地元NPO法人や町おこしグループなどによって定期開催されている。過疎化等で衰退していた町並みにスポットが当てられ、観光PRや交流人口拡大を図るイベントとして効果を上げている。イベント会場では、多くの参加者がマルシェを楽しむだけでなく、文化財公開施設の旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)を見学し、館内では刻み煙草の実演が公開され、文化財の魅力向上にもつながった。

開催日: 第11回うだつマルシェ H26.7.5 第12回うだつマルシェ H27.2.21 (2回)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

周辺にある文化財や文化資源をよりイベント参加者にも親しんでもらえるように、イベント関係者との情報交換などが必要である。

状況を示す写真や資料等

●うだつマルシェ イベント参加者 10,000人～20,000人／1回当たり



うだつマルシェの開催状況  
(伝統的な町並みを活かしたイベント)



「阿波池田うだつの家」の公開状況  
(ミセノマでの煙管の試喫)



刻みたばこが手刻みから機械へと移った時代(藩政期～明治期)に使用されていた、かんな刻み機とぜんまい刻み機を使った、刻みたばこ実演の公開  
(写真左が藩政期のかんな刻み機のレプリカ、写真右は明治期のぜんまい刻み機)  
市指定有形文化財: 旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)

評価対象年度	平成22年度～平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成26年度 三好市歴史的風致計画協議会	
会議等の開催日時:平成27年3月16日(月)10:00～12:00	
(コメントの概要)	
①平成26年度進捗評価に対する各委員からの主な意見	
◆落合集落の公開活用事業について／目標に対する視点を持つておくべき。ハードではなく、目的に対する進行評価	
◆落合集落保存修理事業／落合集落と平家伝説の関わりがあまり知られていない。木地師との関係がある。 木地師は大変な観光資源となる。	
◆ふるさと文化財森のシステム／茅材以外にもこのシステムは活用できる。例えば、落合集落のトタン屋根を茅葺屋根に進めていく形に活用できるのではないか。落合伝建協議会が実施主体となる方法も考えられる。	
◆辻の町並み整備事業について／町並みのまちづくりのルールとして、ガイドライン(修景デザインの統一)が必要。辻町等、盛り上がっている間に取り組みないだろうか。修理も伝統的な間取りなどに基づいて修理をしてほしい。	
◆阿佐家保存修理事業について／修理後の公開を考えていくうえで、阿佐家住宅と阿佐地区の関係を点ではなく、面として考えること。公開に向けての活用計画、展示資料の準備、公開イベントを考えていくうえで、歴史的な特徴と地形的な特徴を盛り込んでいくと面白い。現時点(29年度までの3年間あるので)がそれらを盛り込んでいけるチャンス。調査は、職員や地域住民も巻き込む。公開イベントは、阿佐家や阿佐地区への関心を高め、見直すきっかけにもなる。	
◆阿佐家保存修理事業について／阿佐家は、景観自体に価値がある。阿佐家からの谷間の風景や阿佐家の支配する景観(中世:土豪、近世:名主、近代:農家として支配してきた歴史)は、他に類がない。社会構造としては、祖谷は古い。	
②かずら橋周辺整備構想についての意見／かずら橋の価値を高める方法として、西祖谷山村今久保地区にある「喜多源内の屋敷跡」と関わりを持たせてはどうか。政所とかずら橋ツアーとして、喜多源内の屋敷跡を見てから、かずら橋を見てもらうことで、かずら橋の魅力がさらに高まるのでは。奥祖谷二重かずら橋との連携が大切。もっと二重かずら橋を活かすべきでは。秘境イメージを守るには、今後は、祖谷のかずら橋周辺での観光入込客のコントロールも考えていくべきではないだろうか。観光の負荷を下げるためにも。三好市としてこれらの対応を今度どう考えていくか、非常に大事な課題である。自己規制しかないと思われる。	
今回の委員からのコメントを受け、26年度の進捗評価の記載方法を全体的に見直した。また、特に委員から具体的なコメントが出された関係事業については、今後の事業の進め方や評価の方法に十分反映させなければならない。	